

# 紀元節と幼稚園

貴園にては紀元節の式を如何なる風にお舉げになりますか。

又紀元節と幼児とを如何に結び付けてお考へになりますか。

紀元節が我國三大節の一として、重要な國民的祝祭日であることは今更申すまでもありません。そこで、現在諸幼稚園ではどんな風にして、この日を祝うて居られるのでありませうか。それを各園にお尋ねして、お互の研究の資料にしたいと思ひました。すなはち、茲に掲載しましたのは大要前記の問ひに對して、市内數ヶ所の幼稚園に就き記者が聴取して來たものであります。編輯締切の切迫上、極く少數の幼稚園をお訪したに過ぎませんが、それでも期待に背かない丈けの豊富な好資料を集め得たことを幸福に思ひます。御多忙中を、突然お訪ねしたにも拘はらず、懇切に御會談下さいました各園の園長並びに主任保母の方に厚く御禮を申し上げます。

## 女子大學附屬豊明幼稚園

當園の幼児は紀元節には大學の人達が式をお舉げになります時、一緒にお仲間へ入れて頂きまして一番前の列に並ぶのであります。これはこの女子大學の學園が大學から幼稚園まで一系統を成して居ります爲めに、斯る祝祭日には全學園の人々がすつかり打揃うて、一家族となつて祝し喜ぶといふことになつて居るからであります。これは幼児にもいゝ影響を與へるのであります、一人々

々の幼児は各自大勢の中の一人であることを自識して、幼児相當に嚴肅を感じ、莊嚴を味うて、立派に參列の任を全うするのであります。これは幼稚園だけが別になつて祝ふ場合を想像して見ますに重味のあるといふ點に於て、非常な差異があることであらうと思ひます。三大節の如き國民的祝祭日には努めて端嚴に式を舉げる必要があると思ひます。而して當幼稚園が比較的重味のある式を

舉げることが出来ると思はれましたならば、それは當幼稚園が女子大學に附屬して居るといふ特異の事情に胚胎する所が多いのであらうと思ひます。

當日は幼稚園の幼兒が一番最後に式場に入ります。式は先づ一同の敬禮に始まります。次に君か代を二回合唱、この間に御眞影を開扉いたします。茲で校長が起つて勅語を捧讀いたします。次いで校長、職員、大學生總代、女學校生總代、小學校生總代、幼稚園生總代が順次御眞影に對して最敬禮をいたし、總代を出して居る各段階の生徒も之に倣うて最敬禮をいたすのであります。斯くて御眞影に幕を下ろします。これからしばらく幼稚園生が主となつて式の一部を行ひ、それが濟むと大きい方々より一足先きに式場を出ることになつて居ります。

扱て御眞影の幕が下りますと、校長は幼稚園の幼兒に向つて、極く簡單な話をして下さいます。

この話は問答的に行はれることもあります。

「今日は何ういふ日ですか、知つて居る者は誰でも言つて御覽なさい」といふ風に話されるのであります。この答が又實に可愛いのであります。一般に校長先生などに向ひますと幼兒は固くなつて了ふのでありますが、當幼稚園の幼兒は校長先生をお父さんのやうに思つて居りますので、少しも憶面せずにはつきりとお答へするのであります。扱てそれが終りますと唱歌になります。これは附屬の小學校の生徒の作りましたもので「紀元節のうた」といふのであります。「くもにそびゆる」は幼稚園には六ヶ敷過ぎますので、この唱歌を歌つて式を終ることにして居ります。御參考にお目かければ次のやうなものであります。

#### 紀元節のうた

めでたや今日は紀元節

いはへや今日は大むかし

神武の帝の御位に

卸かせ給ひしその日なり

二千餘年のそのむかし  
今日のこの日は我國の

生れし日なり、いざともに

末の榮を祈らなん

これで幼稚生は退場するのであります、この間はせい／＼十五分位でありますが非常に可愛らしくて、當日の式の端嚴なる他の部分に對して適當なコントラストを成して居るのであります。背後に控へてゐらつしやる姉さん達も、この間始終、可愛くて堪らないといふやうな眼差で、幼い人達を見てゐて下さいます。

式場を出ました幼児は一旦幼稚園の方へ戻りまして、お細工で拵へた勳章や國旗を貰つて歸宅するのであります。

以上の如く當日の式は頗る簡單であります、紀元節になるまでに、いろ／＼なことに關聯させて紀元節といふことを幼児の頭腦に泌み込ませませす。神武天皇のお話をしたり、金鵄勳章の由來を

お話ししたり、國旗を作つたり、弓を作つたりするのであります。去年は「むかし神武のおんみかど、長すねひこをうつときに、ピカ／＼／＼、あやしの光は、天皇のお弓のさきにとまつたり」といふ三番まである「金鵄勳章」といふ唱歌が幼児に大變氣に入りまして大流行でございました、而して金鵄勳章を拵へて胸にさげることも流行いたしました、尤も男兒の多い組と女兒の多い組とは細工物が違ひまして金鵄勳章の代りに弓が流行したりするのであります。總體幼児は表現性に富んで居るものでありますから、すべて理解したところのもの之を外に向つて表現せんとするのであります、そこで紀元節近くなりますと、幼児はお話で聞いたり、歌でうたつたりして、臆氣ながら神武天皇に就て分つて來ますと、直きに神武天皇の御像を拵へやうと致します、紙にも黒板にも描きます、又粘土でも拵へます、去年などは粘土で大變上手に御像を拵へた幼児がありました。斯の如く

く紀元節に對する準備があらゆる方面から行はれて後、始めてその式の當日が生きて來るのではあるまいかと存じます。殊に幼児の場合に於ては、

言はゞ形式的な式だけを行ふだけでは、紀元節を祝ふ心持を多少たりとも實感として味はさせることは至難であらうと存じます。

## 目 白 幼 稚 園

當園の紀元節の舉式はお茶の水幼稚園のそれに萬事則ることにいたして居ります、尤も當園には未だ御眞影が下附されて居りませんので、それが爲めにお茶の水より多少簡單化されて居るのは止むを得ないこと、思ひます、先づ當日は午前十時半頃から式を行ひます。一同が式場に揃ひますと

いて君が代を二回合唱して式が全く終ります、この間が凡そ三十分位ですから十一時までには式が終るのであります。扱て幼児はそれごとくにお菓子を買つて歸るのであります。

敬禮をいたします、それから幼児の總代が「紀元節、おめでたうございます」といふ祝詞を申述べます、これを受けるのは園長であります。この祝詞とともに幼児は一同敬禮をするのであります。

それから紀元節の奉祝歌「くもにそびゆる」を唱ひます。これが終ると園長の簡單な訓辭があり、續

する時に神武天皇のお話などが自然出るのは勿論であります、當日は式の始まる前、幼児達に見せる爲めに幼児の控室に神武天皇御東征の圖とか、金鵄勳章の繪とかを掲げて置きます。幼児に神武天皇の御事蹟を深く知らしむるとか、紀元節の由來をはつきりと分らせるとかいふやうなことは無理に行ふ必要がないと思ひます。斯様な智識

的な事柄は小學校以上に於て教へられるべきであらうと思ひます。幼兒にはたゞ紀元節と神武天皇とは何か關係がある、紀元節の時には屹度神武天皇の御名が繰返されるといふ程度にまで注意を喚起せしむれば充分であらうと思ひます。要は紀元節に際して紀元節らしい氣分を懐かせる基礎を作るにあると思ひます、それには紀元節に適當な感情を伴はせることが必要であります。この感情を伴はせるといふことが誘導的教育、基礎的教育たる幼稚園教育に忘るべからざる用意であると思ひます。すべての事件、すべての行爲に對して、皆それ／＼適當な感情を持つやうに幼兒を導いてやらなければいけないと思ひます。孝行といふことも適當な感情が伴つてゐない場合には僞善と同じに見られても仕方がないではありませんか。三大節にはよく小學校でも、幼稚園でも、兒童にお祝ひの菓子を與へますが、これは幼兒に喜びの感情を持たせる手段として甚だ有効であると思ひま

す、それで當園でも三大節及び三月末の保育終了日には菓子を與へることにして居ります。これは子供に取つては非常にうれしいことなのであります。菓子を與へるなどは教育的でないと言つて批難する人もありますが、これはよく子供の心理を知らぬから斯ることを言ふのであります。尤も元日には菓子の代りに男兒には凧、女兒には羽根を與へて居ります、これも元日の氣分を作る爲め、及びこの遊びを益獎勵したい爲めからであります。基礎的、誘導的教育の本領は適當な感情を伴はせた觀念を與へるといふことにあると思ひます。同じく直觀教授と言つても小學校の直觀教授とは違つて、幼稚園では感情を伴はせた直觀教授を行ふことに努めなければならぬと思ひます。それで當日は式場へも神武天皇御東征の圖と日本の地圖とを掲げて置きます、いづれも特に綺麗に描かれ、はれやかに彩色せられたものを選ぶのであります。幼兒が日本地圖を見ても分らない

のは勿論でありますが、これが日本の國といふことだけを臆氣ながらも感じさせることは極めて適當な處置であると信ずるからであります。

要するに紀元節に際しては、この祝日に關する智的事實を多少誘導し、それに伴ふべき適當な感情を懐かしめるやうにするのであります、而してこの目的を達するために繪畫とお話と儀式と菓子とを適用するのであります、尤も舉式に關しては別の意味即ち教育の手段としていなく、國民としてこの日を祝ふといふ意味の含まれて居ることは言ふまでもありません。

それからこれは幼稚園の仕事として不適當であります、寧ろ家庭で行つて頂きたいことであります、紀元節などには父兄の方々が幼兒を連れ、二重橋へ行き、大官が盛裝して參内するところなどを目のあたり見せたり、街を歩いて國旗が戸毎に掲げられて居る有様などを見せたりすること

も前に述べた紀元節らしい氣分を幼兒の胸に育ませるために大變効果があること、思ふのであります。これなどは幼稚園では一寸實行しにくいことでもありますから家庭に向つて切望する次第であります。一體斯る祝祭日には家庭と連絡して祝ふときには幼稚園だけで行ふよりも効果は二倍或ひは三倍になるであらうかと思ひます、即ちこの祝祭日には家族が一同揃うて宮城の方へ向つて遙拜するといふやうな適宜な方法を取つて家庭的にもこの日を祝ふのであります、さうでないに幼兒は斯る祝日には幼稚園若しくは學校で式だけを擧げるものと思ひ込んで了ふのであります。それから幼兒が幼稚園から貰つて來た記念物とか菓子とかを適當に處理してやることも極めて大切なことであると思ひます。つまり幼兒の氣分の向いて居るのに乗じてこれを誘導するやうに心掛けるのであります。

○

紀元節には午前十時から式を擧げます、式場には紅白の幔幕を引きめぐらし、正面には紫の幕を垂れ、その中央を引絞つて房を下げます、正面の奥まつたところに國旗を交叉し、其上に 兩陛下の御寫眞(複寫)を掲げ參らせませす。

式の順序は一同集合しますと最敬禮をいたします、それから君が代を一同合唱し、終つて園長が祝日相當の訓辭——紀元節とは如何なる日であるかといふことを平易に話して、その日の心得などを申添へます、次ぎに來賓の祝詞があります、(これは無い時もある)、次ぎに幼兒の總代が起つて「紀元節、おめでたうございます」といつてお辭儀をします、幼兒一同もこれに連れてお辭儀をいたします。今まではこれで式が終つたのでありますが、今年はこの後で大正幼年唱歌の「紀元節」を唱

### 城 東 幼 稚 園

つて式の締め括りをつけやうかと思つてゐます、しかしこれは未だ確定はいたして居りません。式は全體で二十分位を要すると思ひます。式が終ると幼兒には菓子と與へて歸宅いたさせませす。菓子といふのは紅白の鳥の子餅でありまして、經木の上にて二つ並べて白紙で包んであります、包紙の表には國旗が交叉してあつて祝といふ字が一字書いてあります。

當日の式に案内する方々は區の名譽職、區長、及び園のために設けられて居る懇話會の、幹部等であります、何時も大抵四五の方々が見えらるるだけであります。

幼兒の父兄及び附添人等にして當日の式に參列することを希望する向には參列を許して居ります、但し是等の人々には幼兒の後方に立つていた

いくことになつて居ります。而して君が代を唱ふ時に幼児と合唱していただきます。小さい幼児が極めて静肅に式を行つて居りますので、それに化せられるのでせうか附添の人々も至極静肅で、眞面目に式に参列いたして居ります。

紀元節近くなりますと當日の唱歌を練習したり總代の豫習や最敬禮の練習等を行ふことは無論であります。

お望みに任せて當日の式の具體的方面のみを特

に申次べた次第であります。

### 紀元節

昔、神武天皇が

悪ものどもを平らげて

始めて、天子の御位に、

おつきなされた芽出度い日、

その日は二月の十一日よ。

祝へや、祝へ、紀元節。

(大正幼年唱歌「第四集より」)

### 東洋幼稚園

紀元節の當日には園長、保姆及び東洋家政女學校の職員生徒一同は午前六時二十分までに宮城前楠公銅像の前に集合いたします。而して一同二重橋前まで行つて君が代を二回合唱いたします。

まだ黎明の大内山には松ばかりが鼠色の朝の大氣の中に濃い影を見せて居ります。一同が君が代を

唱つて居る間には團々たる朝暾が現れて、その第一光が大内山を輝かしく照らし出します、實に莊嚴といつたら是程莊嚴な光景はありません。生徒の中には莊嚴の極、涙を流すものもある位です。君が代を合唱して了ふとまた楠公銅像前まで戻つて來て藤田東湖の正氣歌を一同合唱して後解散い



たします。

園長及び保母はこの深刻なる印象を持つて園にかへり、幼児達の登園を待つのであります。

九時までに幼児が皆集合いたします。これから式が始まります。

式場は野天です。畳なら二十枚も敷けませうか——兎に角幼児の運動場の三分の一位を占めて居る日本一の大きな砂場の砂を掻め集めて砂の山を築きます、而してこの山の上に國旗を樹てます。



當園は二月の三日が開園記念日にあたりましてこの日に多少催しをいたしますので、紀元節は簡單に、しかし嚴肅に執り行ふことにいたして居ります。

三日の記念日が過ぎますと直ぐに紀元節の唱歌を練習したり、分り易く神武天皇の御事蹟を話し

幼児はこの砂山を一列になつて取り巻きます。而して君が代を二回合唱し、大きな聲で「萬歳」を言ふのです。式はこれで終ります。

當日は幼児に、歸る時に菓子や玩具を與へます、蜜柑を與へたこともあります。何時でしたか、幼年雜誌を發行して居る方々の社へ日の丸の繪の入つてゐる幼年雜誌がたまつてゐたら下さいとお頼みして方々から貰ひ集め、幼児に菓子と共にお景物として分け與へたこともありました。

### 江 東 幼 稚 園

たりします。而して紀元節の前日、即ち十日には幼児達が日の丸の旗を作ります。半紙を四つ切りにして、これへ丸く打抜いた赤の光澤紙を貼り付け、ヒゴの旗竿へつけます、ヒゴの兩端には豆がついて居ります。三の組の幼児はまだ小さくて國旗などは作れませんから、大きい幼児が代つて作

つてやります。

當日は式場には紫と白の幔幕を引きめぐらし、正面には紫の幕を掲げて、その中央を引繰り、房を下げて置きます。式は午前十時から開始せられます。順序を申しますと幼児が式場に入ると直ぐ名譽委員も着席いたします。敬禮があつて、君が代を二回合唱し、それが濟むと園長の訓辭があり、續いて紀元節の歌を二回合唱いたします、この紀



紀元節に因で金鷄勳章を作つたり、弓を作つたりして紀元節前後の三四週間を送ることは大抵どちらの幼稚園でもなさつていらつしやること、思ひますから別にお話することもないと存じます。

紀元節の式は莊嚴に行ふことにいたして居ります。時間は極く短くして出来る限り莊嚴にすることを心掛けて居ります。式場には幔幕を張り、宮城の方向に花を供へます、而して一同宮城に對つて、遙拜式を行ふのであります。

式の順序を申しますと、幼児が着席し、續いて

元節の歌は當園だけで用ゐて居るものでありまして、歌詞は次のやうなものであります、

日本の國のはじまりし、めでたき日なり、  
子どもらよ、照る日の丸の旗たて、

いはへや、今日の紀元節。

以上で式は終ります。幼児は記念菓子と昨日作りました國旗とを貰つて歸宅いたします。

#### 朝 海 幼 稚 園

名譽委員、來賓等が着席いたします。それから辭儀をして、君が代を二回合唱いたします、これが濟むと一同最敬禮をいたし、園長が「謹んで朝海幼稚園の職員幼児一同紀元節を祝しまつる」と祝詞を申述べます。それから園長が凡そ三十分位、紀元節の由來に就て話したり、時には金鷄勳章のお話をしたりします。右が終つて來賓の方でお話下さる方があればお話願ふことにしてあります。さてその次に、例の「くもにそびゆる」の一番と四番とを唱つて式が全く終ります。式は全體で三十分ばかりです。幼児は記念菓子を貰うて歸宅するのであります。